

平成 29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | | | |
|---------------|---------------------------------|------------|--------------|
| 事業名 | 高齢者向け地域支え合い事業 | | |
| 事業主体 (連絡先) | シルバーカフェ安曇野 (安曇野市三郷明盛 4593-1) | | |
| 事業区分 | ②健康、医療、福祉の充実に関する事業 | | |
| 事業タイプ | ソフト | | |
| 総事業費 | 1,275,907 | 円 (うち支援金 : | 1,020,000 円) |

事業内容

- ① 高齢者生活充実講座、認知症予防講座など種々のイベントを計画実施し、高齢者の心と体の健康増進を図った。(・健康教室・絵手紙・オカリナ・フォークソング・手芸・お箏・童謡唱歌・マージャン・おやつ作り・社交ダンス・フラワーアレンジメントなど)
- ② 日々の健康状態を記入できる「健康達人☆手帳」を作成し利用してもらった。(・カフェ利用者への配布・健康に関する講座での配布・信州大学健康達人教室受講者への配布新聞記事を読んで問い合わせのあった方へ送付など)



【童謡唱歌を歌おう】

【目標・ねらい】

- ① 高齢者のうつ病の予防
- ② 高齢者の認知症の予防
- ③ 高齢者の社会参加
- ④ 地域企業のサポート

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 今まで家に閉じこもりがちで会話が少なかった方がイベントに参加し、いろんな方と会話したり笑ったりして元気になっている。
- ② 歌ったり、作品作りやマージャンをすることで脳を活性化させ認知症の予防にもつながっている。
- ③ 新しい友達ができてカフェ以外でもつながりができている。利用者の中にはイベントの計画実施をしてくださる方が現れ、社会参加が積極的になってきている。
- ④ 近隣の工場や店舗のご理解により駐車場を無償で貸していただくことができている。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・イベント参加者が事業計画時の約1.7倍になり、利用者同士仲良くなって生き生きしてきた。
- ・介護予防・認知症予防を意識してイベントに参加している。
- ・利用者が企画運営してくれるイベントが増えてきた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

高齢者が当カフェを利用することは心と体の健康維持に役立っていることは利用者の様子から実感できた。多くの方に当カフェのイベントスケジュールを知ってもらい、利用回数を増やしてもらうには、スケジュールの入ったチラシの作成と安価な利用料が大事と考える。チラシ作成、折込の費用は膨大で会費収入以上になってしまうが、支援金のおかげで作成ができ、利用料を抑えることができた。今後も支援対象事業になれるよう計画をしっかりと立て運営していきたい。また、応援企業が増えるようカフェの利用効果を伝えていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある